

引野町に新社屋が竣工 「新しい歴史刻みたい」



総合物流事業の昭和陸運(株)を中核とする持ち株会社のSRホールディングス(株)(福山市引野町四一八、荒木栄作CEO)の新社屋がこのほど同所に完成、12月25日に竣工式を開催した。写真上。

新社屋は鉄骨造り三階建て、延べ床面積一六五〇平方メートル。白を基調にしたモダンなデザインは美術館のようなイメージで、「クリエイティブ」をコンセプトに荒木CEOのアイデアが盛り込まれている。設計は(株)フォルム設計(岡山市)、施工は(株)鈴

木工務店(福山市丸之内)が担当。総工費は五億円規模。

二階には同社グループの物流・不動産・映像・アパレルなど各企業の管理本部が入り、事務機能を集約。一階はグループ企業の商品を展示するショールーム、社内外の人が利用できる一〇〇人収容のセミナールームなどを設けた。

社内にはジャズなどのBGMを流し、より良い環境で仕事ができるように配慮。立つまま会議ができるミーティングスペースや、眺めの良い窓際にはフリーアドレス席を



設けた。また応接室や会議室には「ダヴィンチ」「ガウディ」「ダーウィン」「コロンブス」など偉人の名を付け、愛着がわくよう工夫した。

竣工式後の祝賀会には、関係者や同社社員ら約一二〇人が参加。初めに荒木CEOが写真下Ⅱが「創業者である私の父は新社屋の完成を楽しみにしていたが、2018年4月に他界した。父に見せられなかったのは残念だが、誰よりも今日のこの日を喜んでくれるはず」とあいさつした。

また「建物中央の上昇するらせん階段の造形美が、らせんを描きながら成長するSRグループの未来を想像させ、大変気に入っている。これから新しい歴史を刻むとともに、グループ社員一丸となつてまい進したい」と誓った。

来賓を代表して広島県信用組合(広島市)の青木嘉孝理事長が「素晴らしい社屋が誕生したので、今後も積極的に頑張ってもらいたい」と激励

(株)広島銀行(同市)の小尻郁男常務執行役員の乾杯の発声で開宴。その後、荒木CEOがフォルム設計の楠慎平社長と鈴木工務店の鈴木章平社長に感謝状を贈呈し、関係者全員で完成を祝った。

同社のグループ企業は次の

- 通り。昭和陸運(株)▽協栄商事
- (株)▽(株)ショウリク▽SR物流
- (株)▽アイデア(株)▽岡山第一
- ビデオ(株)▽(株)山陽エイブイシ
- ▽(株)エスケイトレーディング
- ▽(株)ケイエムシー▽(株)Map

150

▽問 ☎ 084・941・8